

【事業所名】 足立区日の出デイサービスセンター

I 事業運営の基本方針

- 人生の支援者として誇りをもち、安定した経営と夢のある職場を目指す。
- お客様一人ひとりの歩まれた人生を理解し、その方が充実した人生を送れるようサービスを創造し、提供することを最重要課題として取り組む。
- 社会福祉法人の職員として、中立性・公益性を重んじ地域への貢献等に努め、誇りを持って従事する。
- 職員間の対話を重視し、働きやすく、いきいきと夢が語れる、安定した施設経営を目指す。
- 職員はサービスにおいてお客様の人権・権利を守り、地域社会、家庭においても侵害されないよう支援する。

II 中期的目標

| 項目 | 内容 |
|--|--|
| 職員への取組「人材の活用」 地域社会への取組「災害対応」 経営基盤強化への取組「コスト削減」「生産性向上の取組」 | 有期契約の採用について、定年退職後の高齢者をスポット的に雇用する採用区分を検討していく。 共同防火管理協議会(ボランティアセンター・足立市街地開発株式会社・UR都市機構日ノ出町団地管理サービス事務所)の共同防火管理協議会の協議事項について見直す。町会・自治会による避難所開設・防災訓練等へ参加する。 生産性向上の取組に向けて、ICT機器の活用を検討していく(サービス提供記録の元データとしてタブレットの活用、ソフトでの送迎表作成、会議議事録作成 AIの活用など)。 |

III 年間計画(進行管理表)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------|---|--------------------|--|--|---|--|--|--|------------------------------------|---|---|---|
| 年間計画 | サービスマナー チェック 入浴研修 2名 春のお出かけ(桜) | 認知症ケア研修 入浴研修 2名 | 倫理法令遵守 について研修 入浴研修 2名 春のお出かけ(柳原 千草園) | 事故発生時の 緊急時、研修 入浴研修 2名 第三者委員会 七夕まつり | カスタマーハラス メントについて研修 入浴研修 2名 夏祭り(神輿) | 事故発生予防や 再発防止研修 運営推進会議 入浴研修 2名 運営推進会議 敬老会 社会福祉士実習 | 防災訓練 家族懇談会 メンタルヘルス研修 サービスマナーチ ェック 入浴研修 2名 家族懇談会 社会福祉士実習 | 感染症業務継続研 修(シュミレーショ ン訓練) 入浴研修 2名 | 身体拘束排除 について研修 入浴研修 2名 忘年会 | 高齢者虐待防止に ついて研修(虐待の 芽チェック) 入浴研修 2名 新年会 | 災害時の業務継続 研修(シュミレーショ ン訓練) 入浴研修 2名 節分祭 社会福祉士実習 | 防災訓練 運営推進会議 プライバシー保護 に関する研修 入浴研修 2名 運営推進会議 お花見ドライブ 社会福祉士実習 |

IV 事業の計画

| 事業の課題 | 取り組む内容 |
|--|---|
| 1 利用者サービスへの取組 | |
| (1) 人権尊重の徹底 ① 高齢者虐待防止 ② 身体拘束等の廃止 | ① 利用者の人権・権利を守り、地域社会、家庭においても権利侵害を受けることがないよう支援する。 ② 高齢者虐待防止委員会を、各事業所担当者の出席により月1回開催し、不適切ケアの把握や分析、利用者や職員の状況把握、研修の立案などを行い、虐待ゼロの実現を継続する。 ③ 虐待の芽チェックリストより、「命令口調が増えている」「職員間のコミュニケーションが取りにくい」の項目が僅かに増えている。職員の補充が間に合わず、多忙であったため、適切な採用とともに定期面談以外にも随時面談を行う。 |
| (2) 苦情解決・相談体制の整備 | ①利用者からの相談や運営上の不満や苦情等を、速やかに解決するために苦情解決・相談体制の徹底を図る。 ②年1回「足立ブロック第三者委員会」を開催し、苦情解決結果について第三者委員に報告し、助言を受ける。 |
| (3) 事故防止対策 | ①事故及びヒヤリハットについては、分析のための会議を毎月開催し、事故の発生防止に努める。 ②ヒヤリハットの件数を増やす仕組み作りを行う。 ③委託事業者の運転手を含めた会議を開催し、安全な送迎の徹底を図る。 |

| | |
|--|---|
| <p>(4)サービスの質の確保 良質・安全安心なサービスの提供「目標:地域住民もお客様も安心できる場所」</p> | <p>①2026年度第三者評価受審予定 ②コンプライアンス遵守の観点により、半年ごとに「マナーの手引き」、1年ごとに「虐待の芽チェックリスト」で自己や施設風土を見直し、具体的な行動規範の理解の徹底を図る。 ③統括事業所として、リスク委員会や安全衛生委員会、感染症対策委員会において感染症を含む危険行為の気づきと改善、危険環境の改善を図っていく。</p> |
| <p>2 職員への取組</p> | |
| <p>(1)人材の確保・育成・定着</p> | <p>① 職員の経験や技量に応じた個別研修計画を立案し、各々が業務の間に履修できる内容やPC環境を整える。 ② 超勤管理や希望休が取得しやすいワークライフバランスの実現を目指す。年間安全衛生推進計画のもと推進委員を中心に事故のないように取り組んでいく。 ③ ストレスチェックの結果を参考に、職場環境を改善し、メンタルヘルス不調を未然に防止できるよう努める。 ⑤ 移乗動作において、職員の負荷が軽減できるよう福祉用具を活用していく。</p> |
| <p>(2)人材の活用</p> | <p>高齢者の有期契約職員に可能な業務を検討していく。</p> |
| <p>(3)職場環境づくり キャッチフレーズ「しっかり働き しっかり休もう！ 1人ではできない喜びを仲間と一緒に！ 伝え合おう 良いところを スマイル全開」</p> | <p>①全職員で作成したキャッチフレーズを目標に団結し取り組んでいける風土づくりを目指す。 ②カスタマーハラスメントに対するマニュアルを作成し研修を行う。また、ハラスメント相談窓口の周知徹底を行う。 ③ストレスチェックの結果、身体愁訴や質的・身体的負担が改善ポイントとして挙がっていた。また新しい特殊浴槽の導入により、入浴介助職員の増員を目指して採用を進めていく。 ④前年度同様高い有給休暇取得率と職員1人当たりの年間平均超勤時間14時間を維持できるよう職場風土を守る。</p> |
| <p>(4)人事給与トータルシステムの構築</p> | <p>新等級フレームに基づいた自己申告書の作成および面接の実施</p> |
| <p>3 地域社会への取組</p> | |
| <p>(1)地域貢献</p> | <p>①地域包括支援センターが開催する体操教室に理学療法士を派遣し、地域のフレイル予防に貢献する。 ②足立区総合ボランティアセンターとの協働により、地域のニーズに応じた公益的取組を検討する。</p> |
| <p>(2)災害対応</p> | <p>①デイ、居宅、包括日の出合同の防災訓練を年2回実施する。 ②日の出町団地自治会との合同の防災訓練を実施する。広域避難場所及びその経路を確認・把握し、災害時には適切に誘導できる体制を整えておく。二次避難所についても具体的な受け入れの手順について確認をする。</p> |
| <p>4 経営基盤強化への取組</p> | |
| <p>(1)収入増への取組 ・提供体制加算Ⅰの取得を目指す ・個別機能訓練加算Ⅱの取得 ・ニーズの高い短時間の受け入れ強化 ・認知症通所介護の稼働70%以上を目指す</p> | <p>①介護福祉士70%以上の配置を目指す。介護福祉士資格取得を推奨していく。 ③ 令和8年度中に機能訓練計画書を介護保険ソフトで作成し、LIFEで提出する。 ③ 短時間のニーズも高く、また昼食が利用者に好評のため昼食を挟んだ3時間程度の利用受け入れを強化する。また認知症デイにおいても特殊浴槽による入浴や短時間の利用受け入れを提案し、新規利用者数を増やす。 ④ 認知症デイの稼働率の全国平均は58%であり、事業所数は前年から3.9%減少し、過去最も少ない事業所数となった。一般デイと比べ欠席率が高いことが要因。稼働率70%を維持するためには、他事業所から断られた方の受け皿として専門性(認知・医療)を高め、地域や居宅介護支援事業所へ認知される必要がある。信頼(認知症研修・MCSを活用した医療との連携)と認知(営業)を重視していく。</p> |
| <p>(2)コスト削減への取組</p> | <p>スポットワークの活用等、様々な採用手段の活用により、採用に係る費用を抑える。</p> |
| <p>(3)法人全体の財政基盤の強化</p> | <p>①ニーズの把握のため居宅介護支援事業所向けのアンケートを実施し、自施設の特徴に反映させる。 ②具体的な数値目標(一般デイ・認知デイともに稼働率70%以上)を掲げ、全職員が共通認識を持って取り組む。 ④ 毎月の固定費、変動費を整理し、収支を検証しながらコスト削減の具体的な数値を設定し実施</p> |
| <p>(4)施設設備等物的基盤整備</p> | <p>老朽化による設備修繕・備品交換については、都度、足立区と交渉をしていく。</p> |
| <p>(5)組織・システム</p> | <p>生産性の向上に向け、欠席者を手書きの管理ではなく、PC管理でどこにいても入力や確認ができるようにする。またシフト内容やマニュアルの見直しを行う。</p> |
| <p>(6)情報セキュリティの強化</p> | <p>年間の研修計画に基づき個人情報保護の研修を受講する。</p> |
| <p>5 持続可能な社会の実現に向けての取組</p> | |
| <p>・SDGs目標12「つくる責任つかう責任」</p> | <p>NIコラボの活用によりペーパーレス化に取り組む。</p> |

【事業所名】 日の出指定居宅介護支援事業所

I 事業運営の基本方針

- ・お客様の人生を理解し、尊厳を守れるようサービスを創造する。
- ・社会福祉法人の職員として、中立性・公益性を重んじ地域への貢献等に努め、誇りを持って従事する。
- ・職員が働きやすく、安定した施設経営を目指す。
- ・事業継続のためサービスを担う職員の確保、育成、定着、働く環境の整備を図る。

II 中期的目標

| 項目 | 内容 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・利用者サービスへの取組 ・職員への取組 ・地域社会への取組 ・事業継続の取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護、苦情対応、サービスの質に対する研修の実施および高齢者虐待防止委員会を定期的に開催する。 ・年間研修計画を立て、自己研鑽となる研修を実施する。 ・地域の防災や見守り活動に参画することによって地域貢献に寄与する。 ・事業所の移転により、事務室を拡大することによって、介護支援専門員を増員し、事業継続と安定した収益を確保する。 |

III 年間計画(進行管理表)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------------------|---|----|----|----|--------------|-----------|-----|----------------------|-----|----|----------|--------------------------|
| 年間計画 | | | | | ・特定居宅合同事例検討会 | ・BCP 机上訓練 | | ・第三者委員会 ・サービス情報公開 | | | ・実習生受け入れ | ・BCP 見直し ・特定居宅合同事例検討会 |
| | 委員会の開催(感染症対策・虐待防止・業務改善)(月1回) ・ グループ会議(月1回) | | | | | | | | | | | |
| | 特定事業所加算算定:特定会議(週1回) | | | | | | | | | | | |
| | 年間研修計画に伴う研修、随時研修実施(月1回以上)認知症ケア・倫理及び法令順守・プライバシー保護・ケアマネジメントプロセス・ハラスメント対策・苦情解決研修・感染予防・身体的虐待・業務継続計画(BCP)・虐待防止 | | | | | | | | | | | |
| | 地域貢献(絆のあんしん会議への参加)(年6回) ・ 常東あんしん拡大会議への参加(月1回) | | | | | | | | | | | |
| 安定経営のための求人(年間を通じて) | | | | | | | | | | | | |

IV 事業の計画

| 事業の課題 | 取り組む内容 |
|--|--|
| 1 利用者サービスへの取組 | |
| (1) 人権尊重の徹底 生活の継続性の維持を目的とした介護サービスの確立 | 高齢者虐待防止委員会の開催(月1回)、虐待の芽チェックリストの実施(年1回)、身体拘束廃止の研修受講や各事業所とのケースカンファレンスの開催 |
| (2) 苦情解決・相談体制の整備 苦情、相談等に適切に対応できる体制の整備 | 苦情受付シートに記録し、対応や改善方法について特定会議で検証し共有する。 |
| (3) 事故防止対策 個人情報保護に努める | ①事故発生時の記録と事故防止対策の強化 ②モニタリング時の個人情報持ち出しチェックの継続 |

| | |
|---|--|
| (4) サービスの質の確保 | 介護サービス情報公表制度、2026年度第三者評価簡易型受審予定 |
| 2 職員への取組 | |
| (1) 人材の確保・育成・定着 研修等の体制を整備し、支援困難ケースなどの対応ができる人材を育成する | ①各職員が課題と感じている研修を受講できるよう調整を図る。 ②支援困難ケースをひとりで抱え込むことなく、週1回の特定会議の中で、課題解決に向けて相談・検討することで、離職防止につなげる。 |
| (2) 人材の活用 | 職員一人ひとりのスキルに合った役割の細分化を図る。 |
| (3) 職場環境づくり 働きやすい環境の整備 | ①業務負担の軽減を図り、超過勤務を減らしワークライフバランスの改善を目指す。 ②ストレスチェック結果に基づきフォロー体制を強化する。 ③働きやすい環境を目指して、書類整理、保管場所の確保ができる事務所の転居を進めていく。 |
| 3 地域社会への取組 | |
| (1) 地域貢献 絆のあんしん協力機関として地域の防災や見守り活動へ参加する | 2か月に1回の「絆のあんしん協力機関」として地域住民との会議に参加し、様々な活動を共に行う。 |
| (2) 災害対応 地域の防災活動に協力する | 「常東地域あんしん拡大推進会議」の運営委員として、地域住民と「災害対策」について話し合い、防災活動の取組に協力していく。 |
| 4 経営基盤強化への取組 | |
| (1) 収入増への取組 事務所移転後の職員の増員 | ①移転による事務室の拡大によって、介護支援専門員を最大5名まで増員し、一人当たりの担当件数 44 件(予防3人を1人換算)を目標とし、収入増につなげる。 ②ケアプランデータ連携システムに加入し、介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善支援事業による補助金を受給する。 |
| (2) コスト削減への取組 残業時間の削減 | ICT(AI による会議録作成・MCS・ケアプランデータ連携システム)の活用によって、業務効率化を図り、超過勤務時間を一人平均、月 10 時間以内に抑える。 |
| (3) 法人全体の財政基盤の強化 併設事業所への紹介 | 特定事業所集中減算に該当しないよう、併設事業所(デイサービス)との意見交換を行い、利用者のニーズに合った介護サービス事業者の紹介ができるようにする。 |
| (4) 施設設備等物的基盤整備 事業所移転による環境整備 | 事業所移転時の環境整備への取組 |
| (5) 組織・システム NI Collabo の活用 | NI コラボで日々の業務が円滑に進むよう活用を継続 |
| (6) 災害・感染症対応 | 業務継続計画(BCP)に基づく、研修の実施、シミュレーション訓練の実施、見直し |
| (7) 危機管理 | 起こりうる危機に備えて、備蓄品の点検と見直しを行う。 |
| (8) 情報セキュリティの強化 個人情報保護の研修を受講し意識付けを行う | 年間研修計画に基づき、個人情報保護の研修を受講し、セキュリティの重要性について学ぶ。 |
| 5 持続可能な社会の実現に向けての取組 | |
| 目標 No.3:すべての人に健康と福祉を | 利用者の状況に合わせた支援が提供できるよう、医療・介護の連携体制を強化する。 |

【事業所名】 足立区地域包括支援センター日の出

I 事業運営の基本方針

- ・ 人生の支援者として誇りをもち、安定した経営と夢のある職場を目指す。
- ・ お客様一人ひとりの歩まれた人生を理解し、その方が充実した人生を送れるようサービスを創造し、提供することを最重要課題として取り組む。
- ・ 社会福祉法人の職員として、中立性・公益性を重んじ地域への貢献等に努め、誇りを持って従事する。
- ・ 職員間の対話を重視し、働きやすく、いきいきと夢が語れる、安定した施設経営を目指す。
- ・ 職員はサービスにおいてお客様の人権・権利を守り、地域社会、家庭においても侵害されないよう支援する

II 中期的目標

| 項目 | 内容 |
|--|---|
| 地域の高齢者が継続して住み慣れた場所で暮らせるようにネットワークを構築する。 | 医療介護の連携、地域で活動する住民等の資源の発掘を行い、ネットワークを構築できるように事業を展開する。 |

III 年間計画(進行管理表)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------|---------------------|-----------------------|---------|--------------------|------------------|---------------------------|------------------------------|----------------------------|------------------|--------------------|------------------|--------|
| 年間計画 | 家族会 日の出カフェ | 地域ケアネット | 家族会 | | | 家族会 | 地域ケアネット | | 家族会 | | | 家族会 |
| | 本人ミーティング あんしん連絡会 | 認サポ 介護予防教室 はじフレ | あんしん連絡会 | 本人ミーティング 介護予防教室 | 物忘れ相談 あんしん連絡会 | 認サポ 介護予防教室 はじフレ | 物忘れ相談 本人ミーティング あんしん連絡会 | 認サポ 介護予防教室 | 物忘れ相談 あんしん連絡会 | 本人ミーティング 介護予防教室 | 物忘れ相談 あんしん連絡会 | 介護予防教室 |
| | 新任職員研修 個人情報研修 | 高齢者虐待防止 研修 | 地域ケア会議 | | ハラスメント研修 | BCP 研修(災害) ・シミュレーション訓練 | | BCP 研修(感染症) ・シミュレーション訓練 | 身体拘束廃止研修 | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

*はじフレ・・・はじめてのフレイル予防教室 *元気アップ・・・みんなで元気アップ教室

IV 事業の計画

| 事業の課題 | 取り組む内容 |
|---|--|
| 1 利用者サービスへの取組 | |
| (1) 人権尊重の徹底 虐待への早期発見・早期対応 | ①高齢者虐待に関する相談支援では、足立区の「養護者による高齢者虐待対応マニュアル」に沿って適切に対応する。 ②月1回虐待防止・身体拘束廃止委員会を開催、年1回以上虐待防止・身体拘束廃止研修を受講、職場全体で解決に向けて検討をする。 |
| (2) 苦情解決・相談体制の整備 住民や事業所からの苦情には迅速に対応する。 | 契約時に苦情窓口についてしっかりと説明し、苦情を受付けた場合は、迅速に誠意をもって対応することを心掛ける。 |
| (3) 事故防止対策 個人情報の紛失・流失・漏洩を防ぐ。 | ①個人情報持ち出し時、個人情報記録媒体運搬管理簿を使用し、複数職員で確認する。 ②個人情報の取り扱いについて、区のマニュアルに基づき、4月に所内研修を実施する。 |
| (4) サービスの質の確保 足立区地域包括支援センター運営方針に基づき、事業内容を計画する。 | 東京都や足立区が主催する地域包括支援センター職員向けの研修には担当職員が必ず参加し、所内で共有する。 |

| | |
|---|--|
| 2 職員への取組 | |
| (1)人材の確保・育成・定着 足立区が定める適正な人員配置(3職種)を確保する。 | ①3 職種の複数配置を確保するため、法人と連携を図る。 ②新規入職職員に対しては、専門性に応じた年間研修計画を立てる。定着に向けて面談を定期的実施。 |
| (2)人材の活用 職種による役割分担 | 職種に応じて、事業担当を配置。職員の希望も踏まえ決定する。 |
| (3)職場環境づくり 情報の共有によって、一人で抱え込まないようにする。 | ①朝礼や困難解決会議等で情報を共有し、ケースを一人で抱え込まないように全職員で把握する。 ②ハラスメント対策、ストレスチェック、育児・介護休暇制度等の法人の規程を周知する。 |
| (4)人事給与トータルシステムの構築 新等級フレームを職員に周知していく。 | 等級フレームに応じた職員の役割を求めていく。 |
| 3 地域社会への取組 | |
| (1)地域貢献 町会・自治会を中心とした地域づくりを行う。 若年層の担い手を養成する。 | ①町会・自治会で開催されるイベントに参加し、地域のニーズを把握していく。 ②地域ニーズに応じた事業を企画したり、住民の居場所づくりなどの取組をサポートしていく。 ③近隣の小・中・高等学校、大学での認知症サポーター養成講座の開催やボランティア活動について働きかける。 |
| (2)災害対応 常東地域あんしん拡大推進会議の活用。 | 常東地域あんしん拡大推進会議を開催。常東地域の防災活動に関して地域住民と話し合いを行う。 |
| 4 経営基盤強化への取組 | |
| (1)収入増への取組 3 職種の複数配置 | 3 職種の複数配置によって、基本委託費の複数配置加算(各職種1名分の上乘せ)を確保していく。 |
| (2)コスト削減への取組 ICT化による省力化 | ①AIによる議事録作成等を活用し、業務の効率化を図ることで、残業を減らしていく。 ②NI コラボや足立区のシステムを利用し、記録を紙からデータに変更し紙資源を前年度よりも10%減少させる。 |
| (3)法人全体の財政基盤の強化 | 事業所として加算事業の目標を設定し、進行管理を徹底していく。 |
| (4)施設設備等物的基盤整備 PC 環境の整備 | 古いPC(3台)を新しいものに交換する。 |
| (5)組織・システム 文書管理のシステム化・共有化を図る。 | NI コラボでの起案書の作成、連絡事項、情報の共有を図る。 |
| (6)災害・感染症対応 BCP 計画の見直し・研修を行う。 | ①BCP、災害・感染症に関する研修の受講、全職員を対象に机上訓練を行う。 ②4月より2名の職員が入職予定。BCPの見直しを7月までに実施する。 |
| (7)危機管理 想定される事業所リスクに対しては、組織として対応。 | 事業所リスクについて、全職員で情報を共有し、組織として対応していく。 |
| (8)情報セキュリティの強化 個人情報の管理の徹底。職員の危機意識の向上。 | ①個人情報記載のファイル等は鍵付きの棚などに保管し、鍵は金庫にて管理することを徹底する。 ②個人情報保護に関する研修を、4月の時点で行い、職員全員に意識づけを行う。 |
| 5 持続可能な社会の実現に向けての取組 | |
| SDGs3:すべての人に健康と福祉を SDGs8:働きがいも経済成長も | ①地域で暮らしている高齢者が、継続して暮らせるようにネットワークを構築する。 ②全ての職員の働きやすい環境を整え、各職員の生活を支えていく。 |

【事業所名】 足立区地域包括支援センター千住本町

I 事業運営の基本方針

- ・人生の支援者として誇りをもち、安定した経営と夢のある職場を目指す。
- ・お客様一人ひとりの歩まれた人生を理解し、その方が充実した人生を送れるようサービスを創造し、提供することを最重要課題として取り組む。
- ・社会福祉法人の職員として、中立性・公益性を重んじ地域への貢献等に努め、誇りを持って従事する。
- ・職員間の対話を重視し、働きやすく、いきいきと夢が語れる、安定した施設経営を目指す。
- ・職員はサービスにおいてお客様の人権・権利を守り、地域社会、家庭においても侵害されないよう支援する

II 中期的目標

| 項目 | 内容 |
|---------------|--------------------------------|
| 地域ケアネットワークの充実 | 構築したネットワークを通して見守り、地域資源の発掘等を行う。 |

III 年間計画(進行管理表)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------|----------------------------|-------------------|-------------------------------|-------------------------|----------------|--------------------|-------------------------|--------------------|--------------------------------|-------------------------|---------|---------|
| 年間計画 | 認サポ・声かけ | | 出張相談窓口 もの忘れ相談 | | 出張相談窓口 | 認サポ もの忘れ相談 | | 認サポ もの忘れ相談 | 出張相談窓口 | | もの忘れ相談 | |
| | 事例検討会 | 在宅医療連携 あんしん連絡会 | 地域ケア会議 | 多職種連携 あんしん連絡会 | 地域ケアネット ワーク | 人生いきいき会 議 | 地域ケアネット ワーク | あんしん連絡会 せんじゅカフェ | | あんしん連絡会 | | あんしん連絡会 |
| | せんじゅカフェ 本人ミーティン グ | せんじゅカフェ | せんじゅカフェ | せんじゅカフェ 本人ミーティン グ | せんじゅカフェ | あんしん連絡会 せんじゅカフェ | せんじゅカフェ 本人ミーティン グ | | せんじゅカフェ | せんじゅカフェ 本人ミーティン グ | せんじゅカフェ | せんじゅカフェ |
| | | はじフレ 元気アップ教室 | → | | | はじフレ | → | | | | | |
| | 介護予防教室 | | 家族介護者教 室 介護予防教室 | 介護予防教室 | | 介護予防教室 | 家族介護者教 室 介護予防教室 | 介護予防教室 | 介護予防教室 | | | |
| | 新任職員研修 個人情報研修 虐待防止研修 | | BCP 研修(災 害)・シミュレー ション訓練 | | | ハラスメント研修 | 権利擁護研修 | | BCP 研修(感染 症)・シミュレー ション訓練 | 身体拘束廃止研 修 | | |

※はじフレ:はじめてのフレイル予防教室 元気アップ:みんなで元気アップ教室 防災訓練:足立区生涯学習センター(学びピア21)全体で実施

IV 事業の計画

| 事業の課題 | 取り組む内容 |
|--------------------------------|---|
| 1 利用者サービスへの取組 | |
| (1) 人権尊重の徹底 権利擁護支援・虐待への対応 | ①高齢者虐待に関する相談支援では、足立区虐待対応マニュアルに基づいた適切な対応を行う。 ②虐待防止・身体拘束廃止に関する研修、人権意識を高める研修をそれぞれ年1回以上実施する。 |
| (2) 苦情解決・相談体制の整備 苦情の早期対応を徹底 | ①苦情相談体制を明確にし、苦情・相談に対して誠意をもった的確に組織的に対応をする。 ②苦情に対して早期対応ができるように所内で定期的に情報共有する。 |
| (3) 事故防止対策 | ①個人情報の持ち出し、持ち帰りの際は他の職員と確認することでダブルチェックをする。管理簿入力を徹底。 |

| | |
|---|--|
| 事故発生時は統括事業所長および足立区地域包括ケア推進課への迅速な報告を徹底。 | ②事故防止研修を年1回以上実施する。 |
| (4) サービスの質の確保 情報の共有を行い、サービスの質を維持 | ①ミーティングや研修報告等を通して、情報の共有を図る。 ②東京都や足立区の地域包括支援センター職員向けの研修に参加し、職員の質の向上を図る。 |
| 2 職員への取組 | |
| (1) 人材の確保・育成・定着 年間を通じた研修体制 | ①サービスの質・技能の向上を目指し、研修を積極的に受講する。年間一人あたり3回以上の研修受講を目指す。 ②専門分野以外の研修を受講できるよう調整する。 |
| (2) 人材の活用 3職種による担当業務の分担 | ①適材適所の業務分担とともに、職員の意欲向上につながるよう希望を踏まえた担当配置を行う。 ②3職種がそれぞれの専門性を発揮し、計画通り事業を実施する。 |
| (3) 職場環境づくり 風通しのよい職場環境 | ①ミーティングや業務会議、ケース会議で情報を共有し、一人で抱え込まないように全職員で連携する。 ②必要に応じて面談を行いコミュニケーションを密にするとともに、職員間でも相談しやすい雰囲気づくりに努める。 |
| (4) 人事給与トータルシステムの構築 等級フレームの周知 | 等級フレームの周知を徹底する。 |
| 3 地域社会への取組 | |
| (1) 地域貢献 | ①地域の祭り等の行事への参加や、実態把握調査等を通して地域包括支援センターのPRを行う。 ②地域のニーズと社会資源を把握し、住民が住み慣れた地域でその人らしく過ごせるためのサポートをする。 |
| (2) 災害対応 | ①年間2回以上の防災訓練を実施。年1回BCPの見直しを行い、必要に応じて更新する。 ②足立区での防災への取組方法の紹介や、消防署と連携し、防災への備えを周知する。 |
| 4 経営基盤強化への取組 | |
| (1) 収入増への取組 | ①3職種を複数配置することで、基本委託費の複数配置加算(各職種1~2名分の上乗せ)を確保する。 ②加算事業において実施漏れがないよう取り組む。 |
| (2) コスト削減への取組 | NI コラボや足立区の記録システムを活用することで、紙資源の使用量を前年比20%減らす。 |
| (3) 法人全体の財政基盤の強化 | 事業所として加算事業の目標を設定し、進行管理を徹底していく。 |
| (4) 施設設備等物的基盤整備 | 建物設備については、足立区との協議事項に基づき対応する。 |
| (5) 組織・システム | NI コラボを活用し、文書管理と文書共有を行う。 |
| (6) 災害・感染症対応 | ①災害備蓄品と感染症対策備品の定期的な点検と管理を行う。 ②BCPに関する研修を受講し、机上訓練を行い、訓練後にBCPの見直しを図る。 |
| (7) 危機管理 | IP 無線を活用し、法人本部・統括事業所日の出内との連絡体制を整備する。 |
| (8) 情報セキュリティの強化 | ①個人情報の保護と管理について、内部研修を通して意識づけを強化する。 ②情報セキュリティに関する研修を年2回以上行う。 |
| 5 持続可能な社会の実現に向けての取組 | |
| SDGs1: 貧困をなくそう SDGs3: すべての人に健康と福祉を SDGs5: ジェンダー平等を実現しよう | ①1: 生活困窮者への支援。 ②3: 社会的つながりを増やすために地域のネットワークづくりに努める。 ③5: ジェンダーにとらわれない平等な職場環境を目指す。 |

2026年度日の出予算計画

(1) 日の出拠点区分当初予算概要

(単位：千円)

| | 2025年度予算 | 2026年度予算 | 増減 |
|---------------------|---------------|---------------|---------------|
| 事業活動収入計 | 290,327 | 297,028 | 6,701 |
| 事業活動支出計 | 276,403 | 290,114 | 13,711 |
| 人件費支出 | 199,920 | 212,425 | 12,505 |
| 事業費支出 | 16,626 | 17,331 | 705 |
| 事務費支出 | 59,189 | 59,722 | 533 |
| 事業活動資金収支差額 | 13,924 | 6,914 | △7,010 |
| 施設整備等収入計 | 0 | 0 | 0 |
| 施設整備等支出計 | 2,748 | 2,068 | △680 |
| 施設整備等資金収支差額 | △2,748 | △2,068 | 680 |
| その他の活動収入計 | 330 | 240 | △90 |
| 積立資産取崩収入 | 0 | 0 | 0 |
| 拠点区分間繰入金収入 | 330 | 240 | △90 |
| その他の活動支出計 | 7,725 | 2,751 | △4,974 |
| 積立資産支出 | 5,415 | 331 | △5,084 |
| 拠点区分間繰入金支出 | 2,310 | 2,420 | 110 |
| その他の活動資金収支差額 | △7,395 | △2,511 | 4,884 |
| 予備費支出 | 0 | 0 | 0 |
| 当期資金収支差額合計 | 3,781 | 2,335 | △1,446 |
| 前期末支払資金残高 | 86,424 | 86,424 | 0 |
| 当期末支払資金残高 | 90,205 | 88,759 | △1,446 |

年間事業活動支出の

| | | |
|----------|-------|-------|
| 資金繰り可能期間 | 3.9ヶ月 | 3.7ヶ月 |
|----------|-------|-------|

(2) 当初予算における積算

稼働率 各サービス区分予算概要に記載
 人件費率 71.52%

(3) 2026年度の特記事項等

- ・デイ・居宅収入は、昨年度あった物価高騰支援金等はないものとして計上。
- ・包括日の出・千住本町収入は共に有資格者の増員が確定しているため、加算委託費等の増収を加味して計上。
- ・人件費は、職員の増員予定を見越して昨年度より多く計上。
- ・積立資産支出は、昨年度は出来ているが、余剰金の見込みが確定してから積立を行う予定。

サービス区分当初予算概要

| 足立区日の出デイサービスセンター | | | |
|---------------------|---------------|---------------|---------------|
| | 2025年度予算 | 2026年度予算 | 増減 |
| 事業活動収入 計 | 163,007 | 161,219 | △1,788 |
| 事業活動支出 計 | 156,029 | 160,981 | 4,952 |
| 人件費支出 | 100,523 | 104,099 | 3,576 |
| 事業費支出 | 16,309 | 17,004 | 695 |
| 事務費支出 | 38,529 | 39,242 | 713 |
| 事業活動資金収支差額 | 6,978 | 238 | △6,740 |
| 施設整備等収入 計 | 0 | 0 | 0 |
| 施設整備等支出 計 | 2,568 | 1,568 | △1,000 |
| 施設整備等資金収支差額 | △2,568 | △1,568 | 1,000 |
| その他の活動収入 計 | 330 | 240 | △90 |
| 積立資産取崩収入 | 0 | 0 | 0 |
| 拠点区分間繰入金収入 | 330 | 240 | △90 |
| その他の活動支出 計 | 7,600 | 2,751 | △4,849 |
| 積立資産支出 | 5,290 | 331 | △4,959 |
| 拠点区分間繰入金支出 | 2,310 | 2,420 | 110 |
| その他の活動資金収支差額 | △7,270 | △2,511 | 4,759 |
| 予備費支出 | 0 | 0 | 0 |
| 当期資金収支差額合計 | △2,860 | △3,841 | △981 |
| 前期末支払資金残高 | 44,710 | 44,710 | 0 |
| 当期末支払資金残高 | 41,850 | 40,869 | △981 |

年間事業活動支出の

| | | |
|----------|-------|-------|
| 資金繰り可能期間 | 3.2ヶ月 | 3.0ヶ月 |
|----------|-------|-------|

| 日の出指定居宅介護支援事業所 | | | |
|---------------------|--------------|--------------|-------------|
| | 2025年度予算 | 2026年度予算 | 増減 |
| 事業活動収入 計 | 23,717 | 23,855 | 138 |
| 事業活動支出 計 | 19,368 | 20,245 | 877 |
| 人件費支出 | 18,198 | 18,877 | 679 |
| 事業費支出 | 80 | 80 | 0 |
| 事務費支出 | 1,090 | 1,288 | 198 |
| 事業活動資金収支差額 | 4,349 | 3,610 | △739 |
| 施設整備等収入 計 | 0 | 0 | 0 |
| 施設整備等支出 計 | 0 | 0 | 0 |
| 施設整備等資金収支差額 | 0 | 0 | 0 |
| その他の活動収入 計 | 0 | 0 | 0 |
| 積立資産取崩収入 | 0 | 0 | 0 |
| 拠点区分間繰入金収入 | 0 | 0 | 0 |
| その他の活動支出 計 | 0 | 0 | 0 |
| 積立資産支出 | 0 | 0 | 0 |
| 拠点区分間繰入金支出 | 0 | 0 | 0 |
| その他の活動資金収支差額 | 0 | 0 | 0 |
| 予備費支出 | 0 | 0 | 0 |
| 当期資金収支差額合計 | 4,349 | 3,610 | △739 |
| 前期末支払資金残高 | 11,558 | 11,558 | 0 |
| 当期末支払資金残高 | 15,907 | 15,168 | △739 |

年間事業活動支出の

| | | |
|----------|-------|-------|
| 資金繰り可能期間 | 9.9ヶ月 | 9.0ヶ月 |
|----------|-------|-------|

【足立区日の出デイサービスセンター】

| | |
|----------|--------|
| 稼働率 一般デイ | 74.50% |
| 認知デイ | 70.90% |
| 人件費率 | 64.57% |

【日の出指定居宅介護支援事業所】

| | |
|--------------|--------|
| 給付管理件数 介護 年間 | 1,236件 |
| 予防 年間 | 336件 |
| 人件費率 | 79.13% |

サービス区分当初予算概要

| 足立区地域包括支援センター日の出 | | | |
|---------------------|---------------|-------------|--------------|
| | 2025年度予算 | 2026年度予算 | 増減 |
| 事業活動収入 計 | 45,073 | 48,537 | 3,464 |
| 事業活動支出 計 | 47,694 | 48,209 | 515 |
| 人件費支出 | 39,375 | 40,101 | 726 |
| 事業費支出 | 232 | 219 | △13 |
| 事務費支出 | 8,087 | 7,889 | △198 |
| 事業活動資金収支差額 | △2,621 | 328 | 2,949 |
| 施設整備等収入 計 | 0 | 0 | 0 |
| 施設整備等支出 計 | 180 | 250 | 70 |
| 施設整備等資金収支差額 | △180 | △250 | △70 |
| その他の活動収入 計 | 0 | 0 | 0 |
| 積立資産取崩収入 | 0 | 0 | 0 |
| 拠点区分間繰入金収入 | 0 | 0 | 0 |
| その他の活動支出 計 | 125 | 0 | △125 |
| 積立資産支出 | 125 | 0 | △125 |
| 拠点区分間繰入金支出 | 0 | 0 | 0 |
| その他の活動資金収支差額 | △125 | 0 | 125 |
| 予備費支出 | 0 | 0 | 0 |
| 当期資金収支差額合計 | △2,926 | 78 | 3,004 |
| 前期末支払資金残高 | 17,590 | 17,590 | 0 |
| 当期末支払資金残高 | 14,664 | 17,668 | 3,004 |

年間事業活動支出の

| | | |
|----------|-------|-------|
| 資金繰り可能期間 | 3.7ヶ月 | 4.4ヶ月 |
|----------|-------|-------|

| 足立区地域包括支援センター千住本町 | | | |
|---------------------|--------------|--------------|---------------|
| | 2025年度予算 | 2026年度予算 | 増減 |
| 事業活動収入 計 | 58,530 | 63,417 | 4,887 |
| 事業活動支出 計 | 53,312 | 60,679 | 7,367 |
| 人件費支出 | 41,824 | 49,348 | 7,524 |
| 事業費支出 | 5 | 28 | 23 |
| 事務費支出 | 11,483 | 11,303 | △180 |
| 事業活動資金収支差額 | 5,218 | 2,738 | △2,480 |
| 施設整備等収入 計 | 0 | 0 | 0 |
| 施設整備等支出 計 | 0 | 250 | 250 |
| 施設整備等資金収支差額 | 0 | △250 | △250 |
| その他の活動収入 計 | 0 | 0 | 0 |
| 積立資産取崩収入 | 0 | 0 | 0 |
| 拠点区分間繰入金収入 | 0 | 0 | 0 |
| その他の活動支出 計 | 0 | 0 | 0 |
| 積立資産支出 | 0 | 0 | 0 |
| 拠点区分間繰入金支出 | 0 | 0 | 0 |
| その他の活動資金収支差額 | 0 | 0 | 0 |
| 予備費支出 | 0 | 0 | 0 |
| 当期資金収支差額合計 | 5,218 | 2,488 | △2,730 |
| 前期末支払資金残高 | 12,567 | 12,567 | 0 |
| 当期末支払資金残高 | 17,785 | 15,055 | △2,730 |

年間事業活動支出の

| | | |
|----------|-------|-------|
| 資金繰り可能期間 | 4.0ヶ月 | 3.0ヶ月 |
|----------|-------|-------|

【足立区地域包括支援センター日の出】

人件費率 82.62%

【足立区地域包括支援センター千住本町】

人件費率 77.82%